

## 第2回江別市学校給食用食器検討委員会 議事録（要点筆記）

1 日時 令和8年2月17日（火） 午後3時30分から午後4時50分まで

2 場所 江別市給食センター元野幌調理場 2階会議室

3 出席者 委員長 安部 由里香  
委員 山本 和彦  
委員 越川 ゆきこ  
委員 小林 道  
委員 小林 周平  
委員 中井 和夫  
委員 和田 陽一

4 欠席者 副委員長 工藤 愛

5 事務局 教育部次長 新山 千穂  
給食センター長 三浦 洋  
対雁調理場長 井上 滋  
センター調理場長 西 聖一  
対雁調理場班長 佐藤 浩治  
業務係長 八木橋 源  
業務係主査 新田 雅樹  
栄養教諭 倉田 幾代  
栄養教諭 西濱 多恵子

5 傍聴者 1名

第2回江別市学校給食用食器検討委員会

日時 令和8年2月17日(火) 15時30分

場所 元野幌給食センター2階会議室

	内 容
事務局 (三浦 センター長)	ただいまから、第2回江別市学校給食用食器検討委員会を開催いたします。 本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。
事務局 (三浦 センター長)	当委員会は、設置要綱第5条第2項において、委員の半数以上の出席をもって成立することとなっております。現時点で、8名のうち、7名の出席がありますので、委員会が成立しておりますことをご報告いたします。
事務局 (三浦 センター長)	それでは、次第にそって、進めさせていただきます。 まずは、次第の2「委員長挨拶」について、安部委員長からご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。
	【安部委員長挨拶】
事務局 (三浦 センター長)	ありがとうございました。 これ以降の議事進行につきましては、委員長に交代させていただきます。安部委員長、よろしくお願いいたします。
安部委員長	それでは、議事に入る前に、江別市学校給食用食器検討委員会の公開について、事務局から説明をお願いいたします。
事務局 (三浦 センター長)	本市では、審議会等の会議は、支障のない限り公開を原則としており、この会議でも傍聴を認めております。 もう1点、会議の議事の概要として、発言の内容を発言者の氏名とともに市のホームページ等で公開いたしますので、ご了承願いたいと思います。
事務局 (三浦 センター長)	なお、本日、傍聴者がいらっしゃいますので、入室いただいて、これ以降の議事を傍聴いただこうと考えておりますが、よろしいでしょうか。

事務局 (三浦 センター長)	<p>(承認)</p> <p>それでは、傍聴者の方に入室していただきます。</p> <p style="text-align: center;">————— 傍聴者入室 —————</p>
安部委員長	<p>傍聴者の方に申し上げます。</p> <p>委員会の開催中は、静穏に傍聴することとし、拍手その他の方法により賛成、反対の意向を表明するような行為はご遠慮いただいておりますので、ご協力の程をよろしくお願いいたします。</p>
安部委員長	<p>それでは次第の3「議題」に入ります。</p> <p>「江別市学校給食用食器」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (井上場長)	<p>私から説明させていただきます。</p> <p>第2回江別市学校給食用食器検討委員会と記載しているカラーの資料をご覧ください。</p> <p>スライドの1 目次ですが、今回の資料は記載の3項目で構成されています。</p> <p>スライドの2 第1回検討委員会の振り返りです。</p> <p>スライドの3 第1回検討委員会で事務局から説明した、現状の危険性についてまとめています。</p> <p>スライドの4から7では、第1回検討委員会における意見交換についてまとめています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・割れる食器を扱うということについて、学校では丁寧・大切に扱う指導をしており、児童生徒も作業回数を重ねることでスムーズに行えるようになっているため、不自由は見受けられないが、高学年と低学年では感じられる負担が違うかもしれない。</li> <li>・漂白については定期的に行いつつ、学期始めには違う薬品を使用して洗浄している。</li> </ul>

<p>事務局 (井上場長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食器の破損事故については、最近多くなったのではなく、前から発生している。</li> <li>・食器の劣化については、洗浄作業だけが原因ではなく、配送や配膳時など日常的な負担が蓄積されることも劣化の原因と考えられる。</li> <li>・強化磁器食器からの変更については、資料をお配りし、今回の検討委員会で検討をお願いしております。</li> <li>・プラスチック食器が漂白に弱いかについては、強化磁器がやはり漂白に強いが、プラスチック食器も溶出により人体に悪影響を与えることはないと確認しています。</li> <li>・江別市では異物混入や食中毒に敏感に作業しつつ、大変多い給食数を提供している中で、陶器の欠片は非常に危険な異物なため、提供する側として絶対に混入させたくない種類のものであるということを今後の検討の共通認識としたい。</li> <li>・メラミン食器は良いところもあるが、悪いところもあり、全てが良いわけではないので、次回以降の検討でも注意してほしい。</li> </ul> <p>このような趣旨の意見交換がなされました。</p> <p>ここまでが、前回の振り返りとなっております、次のスライド以降は、それでは今後どのようにするかというものについて、事務局で案を出させていただきます。</p> <p>資料に掲載しているのは、事務局案として検討した範囲になりますので、視野が狭い部分もあるかと思えます。</p> <p>委員の皆様には、他にこのような案もある、など、ご遠慮なく、積極的に意見をお示ししていただければ幸いです。</p> <p>また、ご検討の中で専門的な分野について確認したい部分もでるかと思えます。</p> <p>学識経験者としてご出席いただいております、管理栄養士でもあり、疫学の専門家でもあります酪農学園大学教授の小林道（とおる）委員、北海道消費者協会の商品テスト部の技師として、物品の検査にご精通されている、小林周平（しゅうへい）委員には、ご助力をいただけますよう、お願い申し上げます。</p>
-----------------------	--

事務局 (井上場長)	事前に小林（周平）委員から、前回の検討委員会で意見があったメラミン食器について、補足説明をしたいという申し入れがありました。委員長よろしいでしょうか。
安部委員長	お願いします。
小林（周平）委員	<p>ちょっと専門的な話になるかと思いますが、私の方から補足説明をさせていただきます。資料の7ページで、メラミン食器については良いところもあるが、欠点もあり全てが良いところではない、と記載されています。</p> <p>着色とか使い勝手以外で私がテスト等で調べている科学的な部分に関連しますが、メラミン樹脂食器に関する業界団体の資料及び毒性学的な視点も踏まえて説明させていただきます。</p> <p>まず、メラミンについてですが2009年から2011年頃に報道された健康被害という点を想起される方も、まだおりまして、メラミン自体に強い毒性があるんじゃないかという印象を持たれることもあるかと思いますが、当時問題となった部分は、メラミンといえばメラミンですが、メラミンモノマーと言われる物になります。</p> <p>モノマーとは簡単に言うと低分子になりますが、比較的水に溶けやすく、体の中に取り込まれた場合、すぐ吸収されるような性質を有しています。</p> <p>これに対して食器に使用されているメラミン樹脂というのですが、メラミンモノマーという小さな分子同士が結び付くことによってできた、大きな材料といわれるもので、メラミンモノマーとは対照的に水に溶けにくい性質を有していることから、健康被害があったメラミンとは別で考えた方がよろしいのかな、と思います。</p> <p>ただ、メラミン樹脂食器の化学構造上、ホルムアルデヒドという物質が存在しておりますが、現行の食品衛生法上で規定される規格に基づき、溶出基準により、厳格な管理の対象となっております。</p> <p>対してメラミン樹脂食器と同様に広く使用されているPEN樹脂食器、こちらと科学的性質で比較してみると、メラミン樹脂食器とは異なり、化学構造上、PEN樹脂食器にはホルムアルデヒドは含まれておりません。</p> <p>食品用途によく使われているため、個別規格も定められており、遺伝特性や発がん性に対する評価についても専門機関である食品安全委員会から公表されている資料を見る限り、現時点で、特段の健康影響性は懸念されておられません。</p> <p>また、メラミン樹脂と異なる部分、製造方法についてですが、PEN樹脂食器の製造工程においては、原料となる低分子とか反応を円滑に進めるための触媒が使用されており、製造の進行に伴い、化学構造に取り込</p>

<p>小林（周平） 委員</p>	<p>まれる形になったり、または、除去される形になったりしますが、これについても製品中の残存量を国の規格に基づいて管理されています。</p> <p>また、メラミン樹脂食器と同様に毒性試験の結果につきましても、通常の使用条件下においては、直ちに健康影響性を示すものではないと結論づけられています。</p> <p>以上、あくまで現況の事実ベース及び研究ベースでメラミン樹脂食器並びに PEN 樹脂食器の補足説明をさせていただきましたが、安全管理の部分で重要なことと私が考えるのは規格内かどうかということだけではなく、劣化した際の挙動がある程度予測しやすいかどうかかなと思います。</p> <p>学校給食では当然ながら、長期、反復使用を前提としておりますので、できるだけ科学的に安定で、あと分解経路が単純で、できるだけ予測可能な材質であることが将来的なリスク管理の観点からも望ましいと、これは私の意見になりますが、そういう様に考えています。</p> <p>以上、説明が少々長くなり恐縮ですが、検討の一助になれば幸いです。</p>
<p>事務局 （井上場長）</p>	<p>ありがとうございます。今後の検討でもプラスチックに対する疑問等が出るかと思えます。その際にも詳しい説明など、ご助言をお願いします。</p>
<p>事務局 （井上場長）</p>	<p>では、資料説明を進めまして、スライドの8 状況を改善するための手法検討に移ります。</p>
<p>事務局 （井上場長）</p>	<p>まず、現状を改善する必要があるか、無いかについて、ご検討いただければと思います。</p> <p>ちなみに、年明けの1月22日に小学校で配膳時に割れた食器が発見され、食材の混入への不安があったことから、児童たちに副菜の提供を中止した事案が発生、2月5日には同じく小学校（対雁小3年生）で配膳の際に手が滑ってカップを落としてしまい、それが食缶にあたって割れてしまった事案が発生、このときもその食缶からの提供を中止しています。</p> <p>第1回検討委員会の意見交換でもありましたが、食器の欠片という危険な異物が混入する可能性がある事故が発生している状況は、児童生徒の安全を脅かすものであり、何らかの手法により改善する必要がある、と考えております。</p> <p>現状を改善する方法についてご検討いただきたいと考えております。</p>

安部委員長	<p>事務局から説明がありました。</p> <p>現状で食器の欠片という危険な異物が食事に混入する事故が発生していることで、このまま放置するのではなく、何らかの手法をとって改善する必要があるかどうかについて、皆さんのご意見をいただきたいということでした。</p> <p>ご意見をお願いします。</p>
越川委員	<p>前回報告があった破損事故による混入の際には、担任の先生の機転で、もったいないからそのまま食べるということではなく、安全第一に提供中止したとのことでしたが、今回の2件についても提供を中止したことは、こういった場合には提供を中止してください、というようなマニュアルがあるのか、それとも現場ベースで担任の先生や管理職の先生が判断されているのか、どのような形で提供中止が決定されているのでしょうか。</p>
事務局 (井上場長)	<p>機転と言いますか、適正な対応になります。</p> <p>食缶の近くで食器が割れ、欠片が混入してしまうような心配がある場合には提供を中止をお願いしています。</p>
越川委員	<p>全部の学校現場にはそれが通達されていて、それに従って対応しているということですか。</p>
事務局 (井上場長)	<p>そうです。</p>
中井委員	<p>前回の検討委員会の前になりますが、北海道新聞に記事がでていて、それを見るとプラスチック食器に変えるという内容に思われたのですが、市の思いとしては、プラスチックに変えたいという趣旨なのですか。</p>
事務局 (井上場長)	<p>記事のニュアンスとして、そう感じられたかもしれません。</p> <p>記者の捉え方もあるかと思いますが、取材でお答えしたこととして、市としては、第1回検討委員会でお話しした事案が起きていることから、まず食器検討委員会を開催し、検討をしていただきたいということをお話ししました。</p> <p>市の思いとしてはプラスチックに変えるのが趣旨なのか、というご質問ですが、そういうことではありませんし、それが前提でもありません。</p> <p>ただ、提供する側としては割れない食器は安心、という気持ちはあるのは正直なところです。</p> <p>それも含めて検討していただきたいと考えております。</p>

<p>安部委員長</p>	<p>先週、うちの学校（大麻小）でも実は食器を割ってしまいまして、その際に校長の私のところに謝りに行こうと、担任の先生が連れてきてくれました。</p> <p>私は「怪我はなかったですか？」と聞いたのですが、子ども達は校長先生にごめんなさいをするということで、何とも言えない表情をしていました。</p> <p>子どもにとって物を壊してしまったことは、とても大きなことで、手を滑らせてぼろっと落としてしまったのですが、何とも言えない顔でごめんなさいと言っているのを聞くと、割れることは、始末も大変なのですが、子ども自身にも負担なのだな、と感じました。</p>
<p>事務局 （井上場長）</p>	<p>ご意見ありがとうございます。伺ってみると、食器を変更する、あるいは後で考えていくとして、何もしないで良いことはならず、何らかの対応をしないといけないという認識で進めさせていただきたいと思っています。</p>
<p>事務局 （井上場長）</p>	<p>それでは、資料の説明を進めさせていただきます。</p> <p>スライドの10からは、児童生徒の安全性を向上するための具体的な手法についての案を4つ掲載しています、ひとつずつご検討をお願いしたいと思います。</p> <p>スライドの10では、強化磁器食器には、破損により異物の混入の可能性はあるものの、多くの利点もあり、このまま継続使用できないだろうか、という考えです。</p> <p>もちろん、このままの状態ではいけませんので、何らかの工夫をして、破損による危険を減らしていく工夫が必要になります。</p> <p>そのためには、調理場、配膳室における劣化食器の発見、除去を今以上に徹底する、学校では児童生徒への取り扱いの指導を強化することを記載しておりますが、では、具体的にどのようにして、それを実現していくか、となると難しいと考えます。</p> <p>調理場、配膳室では現在も食器を注意深く確認しておりますが、視認が困難な劣化した食器を発見する手段はありません。</p>
<p>事務局 （井上場長）</p>	<p>また、学校でも指導は既に行っていたいただいており、児童生徒は注意して配膳作業をしていただいていると思いますが、それでも食器の破損事故を完全に防ぐことはできません。</p>

事務局 (井上場長)	そのうえでのご検討となり申し訳ありませんが、まずは、現在使用している強化磁器食器を変更しないまま、安全性を向上する手法がないだについて、新たな視点、お考えからご検討をお願いできればと思います。
安部委員長	事務局から、食器を変更しないで、事故の防止ができるような、具体的な手段を新しい視点から検討してみしてほしいとのお願いがありました。 皆さんの意見をお願いします。
中井委員	強化磁器食器が2016年に採用されたということで10年経っています。このメーカーによる改善は無いのですか。
事務局 (井上場長)	この後の資料でお話しさせていただこうと思っていたのですが、メーカーで現在の食器よりも丈夫な食器を開発しています。 ただ、まずは食器自体を変えないで安全を向上できる手段がもしあれば、ということでご意見いただければと思います。  ～ 意見無し ～
安部委員長	まず保留として、次の説明に進んでいただいてよろしいですか。
事務局 (井上場長)	具体的な改善手段をいきなりご検討いただくのは難しいと思います。申し訳ありませんでした。
事務局 (井上場長)	説明を進めさせていただきます。 次は食器を変更する場合の案になります。 スライドの11は、さらに丈夫な強化磁器食器に変更することで安全性を高めるという考えです。 強度が高ければ、破損が少なくなり、事故の発生も減少するのではないか、との考えから児童生徒の安全性を向上することができるという考えです。
事務局 (井上場長)	昨年度に従来の磁器食器より4倍の強度で、世界最強磁器食器と名付けられた磁器食器が商品として開発されました。 開発元に確認したところ、従来の磁器食器の利点は変わらずに強度を上げており、その分、若干、重さが増しているということです。  こちら、サンプルをいただきましたのでご確認ください。

各委員	～世界最強磁器食器と割れた状態の破片、現在の強化磁器食器を確認～
越川委員	(割れた破片を確認して) これは割って見たのですか？
事務局 (井上場長)	はい。開発元に許可をいただいて実際に割ってみました。 割った際ですが、配膳時に重ねられた食器を机から落としてしまう、 という学校の事故で生じている状況を再現しました。 この破片はそのときのものです。 一枚だけで机から落とした場合は3回中1回割れて、これは落ちた時の 角度次第という感じでした。
各委員	～確認終了～
事務局 (井上場長)	ご確認ありがとうございます。 この食器に変える場合で懸念されることは、割れない訳ではないこと です。 例え、従来の食器の4倍の強度があったとしても、重なって落下した ときの衝撃はその強度では吸収することはできない場合があり、割れて しまいます。 そして、割れた場合には、陶器ですので欠片は細かく、鋭利になります。 もうひとつは、地元の小規模校への導入実績はあるものの、商品とし ての開発から間もないため、大規模な学校給食施設などへの導入はな く、9,000人規模で使用した際の破損率がどの程度になるのか客観的な データが無いこと。 また、陶器は物によって大きさが微妙に変わるものですが、この食器 がどの程度均一に製作可能なのかについても、まだデータがないとのこ とを納入元から確認しており、食器によっては現在の洗浄設備などで不 具合が生じる可能性も否定できないとのことでした。 ただ、強度的には4倍になっており、単純な落下で割れることは減る と思います。 これらの情報を踏まえまして、ご検討をお願いできればと思います。
安部委員長	事務局から説明がありました。 更に丈夫な強化磁器食器に変更する案について、皆様のご意見をお 願います。
山本委員	たまたま、先週と今週に担任の先生がお休みした学級に入り、給食指 導を行った際に感じるどころがあったのでお伝えします。

山本委員	<p>先週は小学2年生の教室に入りました。2年生にとっては食器を含めた食器カゴは重そうでした。</p> <p>今回、若干、重くなるということで、もしこの食器に変わると、低学年の子にとっては、更に重い食器を扱うことになるのかなと思いました。</p> <p>今日は5年生の教室に入りました。5年生は慣れているので配膳をスムーズに行っていましたが、食事中に子ども達と話をした際にいまの食器をどう思うか聞いてみたところ、「重たい」と言っていて、5年生の子どもでも重たいということが、先にくるのだなと思いました。</p> <p>また、食器を机の端におく子もいるので、見ているとヒヤヒヤするというか、割ってしまうのではないかと心配になると話している子もいました。</p> <p>もちろん、逆に重さが食事をしている感じがして好きなのだ、と話している子もいて、両方いらっしゃいました。</p> <p>子どもが使うので、低学年であっても高学年であっても、もう少し軽くなると良いなと感じました。</p>
安部委員長	<p>他にご意見はありますか。</p> <p>～ 意見無し ～</p>
安部委員長	<p>それでは、先に進めてください。</p>
事務局 (井上場長)	<p>はい。世界最強磁器食器について、わからない点がでてきたら、後にも質問してください。</p>
事務局 (井上場長)	<p>スライドの12は陶器ではなく、プラスチック食器に変更することで安全性を高める案になります。</p> <p>プラスチック食器は破損しにくい食器であり、通常の使用をしている場合において、細かく割れて欠片が食缶に混入する事態は発生しないと考えられます。</p>
事務局 (井上場長)	<p>過去の検討委員会の際には一部の原料では設定されていなかった個別規格が設定され、国により安全性の保証がなされたことから、変更について再度検討しようとする案です。</p> <p>プラスチック食器の場合には物理的な破損という観点ではなく、原料としての不安、児童生徒が使用する感覚、物を大切にという感覚が低下する、といった点などが気になる部分かと思います。</p>

事務局 (井上場長)	今回は、プラスチック食器のうち何種類かをサンプルとしてお持ちしましたのでご確認ください。
各委員	カゴに入れた 強化磁器食器 (小皿・中皿・カップを35枚) カゴに入れた PEN 樹脂食器 (小皿・中皿・カップを35枚) その他、メラミン樹脂食器、ポリプロピレン樹脂食器を確認
事務局 (井上場長)	<p>ご確認ください。</p> <p>何種類か見ていただきましたが、江別市のような大規模な給食施設で導入実績のある物として認識してください。</p> <p>プラスチック食器は他にもまだ種類はありますが、最近の主流としては、PEN 樹脂食器です。</p> <p>ただ、皆さまに見ていただいたばかりであり、今回はこのうちのどれが良いかを論議するのではなく、プラスチック食器に変更することとは、どうなのだろうかを検討していただけたらと考えております。</p> <p>いま使用している強化磁器食器をプラスチック食器に変えたら、どうなるのだろうか、まずはそれがあいなのか無しなのか、そのような視点からもご検討いただきたいと思っています。</p>
安部委員長	<p>事務局からプラスチック食器に変更した場合の検討をお願いしたいということでしたが、実際に確認して、プラスチック食器についてどのように思われましたか。</p> <p>ご意見をお願いします。</p>
越川委員	<p>プラスチック食器の導入について、以前それに対する不安もあったということでしたが、学校でお米についてはプラスチックの食器に入っている状態で提供されているので、そうすると今回の食器はどこが違うのかなという疑問があります。</p> <p>洗浄工程などで、お米と色々な油物では違うのかなとも思いますが、現状、既に一部導入されている状況で、こっちの食器は陶器でなくてはならないという話にもならないのかな、と思えて、その辺りをどう考えたら良いのかお伺いしたいのですが。</p>
事務局 (井上場長)	<p>その通りではあります。</p> <p>ただ、毎日使う食器について検討されていた経緯があり、米飯は週に2.5回であり、汁物のように熱いものを入れたり色々な食材を入れる食器と違い、ご飯しか入れない容器ということでもあったかと推測しますが、米飯容器については、弁当箱方式の導入時から現行のものを使用している状況です。</p>

<p>小林（道）委員</p>	<p>文献ベースで調べてきたのですが、学校給食の食器具の検討という論文がありまして、その中では食器の検討条件というのが8個あります。</p> <p>一つは材質安全性。材質の安全が確保されていること。</p> <p>そして、児童生徒の運搬や調理員の作業に過重な負担がかからないこと。これが2番目。</p> <p>3番目が破損しにくいこと。</p> <p>4番目、保温性があり、持ちやすく手に持って食べることができること。</p> <p>5番目、料理をひきたたせ食欲をそそる色感があること。</p> <p>6番目、購入適正と、耐久性。</p> <p>7番目、献立の多様化で、できれば複数の種類があること。</p> <p>8番目、食物アレルギー対応。施設のレベルにもよるのですが、そういう確保ができるかどうか。</p> <p>このような感じでした。</p> <p>いままでの議論の中では、材質安全性と作業の負担、運搬の負担。児童生徒だけに着目されていましたが、調理員の作業というところも非常に大切になってきます。</p> <p>そして、破損しにくい。</p> <p>強化磁器から PEN 食器への変更の流れというのは、非常にノーマルで、施設の建て替えがある場合には、自治体はそのような傾向があります。</p> <p>これは、こういう選定条件を PEN 食器が満たしているからです。</p> <p>その他には、洗った後のアレルゲンの残存なども論文には記載されています。これは食器による差はありません。</p> <p>磁器食器の良いところで、料理映えがすることは文献にもあります。</p> <p>ただ、それはデザインの問題も結構あると思います。</p> <p>磁器食器は確かに重さがあって重厚感がありますが、児童に食文化などを伝えるにあたっては、PEN 食器であっても、福島県では、福島市の花の模様を入れるなどの工夫によって十分に補完しています。</p> <p>世の中の流れとして PEN 食器の傾向はありますから、逆に磁器食器を残す理由は何なのかという視点も必要かなと思っています。</p>
<p>中井委員</p>	<p>冒頭で小林（周平）委員から説明がありましたが、メラミン樹脂食器については20年前からは大きく変更があり、食器としてのメラミン樹脂食器は問題がないのかなと。</p> <p>また、包装資材としてもほとんど影響がないという結果がでていますが、まだ未解明の分子構造の物質が溶け込んでくる可能性はある。</p> <p>その対策として、プラスチックを使う場合にはあまり長期間使わないことが必要ではないかと。</p>

中井委員	<p>傷ついたりしたら、そこから未解明の分子構造が食器に付着するという可能性もゼロではないのではないのでしょうか。</p> <p>プラスチックに反対するというよりもどうやって適切に使用するか。陶器と同じように10年も使うという発想は止めた方がいい。</p>
小林（道）委員	<p>PEN 食器の耐用年数は10年位と見込んでいることが多いと思いますが、おっしゃるように傷ついたりしたときに、きちんとその食器を除けるかということですよね。</p> <p>そのチェックが恐らく大切になってきますね。</p>
中井委員	<p>もうひとつ、プラスチックに関連してですが、現在、プラスチックを減らそうというSDGsの動きの中で、あえて食器をプラスチックにするのか、があります。</p> <p>そこまで考える必要はないのかもしれませんが、市でもプラスチックを減らす取り組みがあり、SDGsを推進していくうえで、トータルでプラスチックを減らしたいというのが市の方針であると思うので、直接には安全性と関係ないかもしれないですが、そういう世の中の動きをどう見るのかなと思います。</p> <p>私としてはプラスチックを減らすことができるならば、減らしたほうが良いと思います。</p>
事務局 （井上場長）	<p>ご意見の通り、プラスチックに関しては色々と言われているところでもあり、市としてもプラスチックのごみ削減を推進しています。</p> <p>ただ、今回、食器の検討にあたり、児童生徒の安全性を向上させることを目的として、給食センターとしては、現在主流となっているプラスチック食器を外して検討することは難しいと考えました。</p> <p>例えば使い捨てのプラスチック食器に変更を検討とすとなれば、それは止めましょうという話になりますが、そうではなく、食器としてきちんと使っていくというところで、検討案のひとつとして掲載しました。</p>
中井委員	<p>フォークとかスプーンはどうなのですか。食器ではないですが、直接口に入れるものです。</p>
事務局 （井上場長）	<p>フォーク、スプーンはステンレス製です。箸は5年に1度同じように食器検討委員会を開催して検討しています。</p>
安部委員長	<p>プラスチックに関して他にご意見ありますか。</p>

	<p>～ 意見無し ～</p>
事務局 (井上場長)	<p>小林(道)委員から、強化磁器について食感や、これは感覚的なものになりますが、例えば食事の彩などの面で利点があるとのことご意見もありましたが。</p>
小林(道)委員	<p>わずかながら良い評価を得ている文献はあります。ただ、それほど変わらないです。</p> <p>デザインがやはり大事だと思います。ちょっと和食器風にするなど。現在使用している食器は、そういった工夫もないかと思います。</p> <p>自分は、PEN樹脂食器しかないと思います。</p> <p>給食提供をする側としては、それ以外は考えられないです。</p> <p>リスクをどうとるか、です。</p>
事務局 (井上場長)	<p>先ほどご意見でありましたが、強化磁器を使い続けるとしたら、なぜ使い続けなければならないのか。</p> <p>これは事務局からの意見になってしまいますが、第1回でも説明させていただきましたが、強化磁器も良い食器だと思っています。</p> <p>割れることと重いことは欠点ですが、慣れ親しんでいる部分もあるでしょうし、個人の感覚にもよりますが、口触りの面でも好みであるという意見も聞こえてはいます。</p> <p>第1回食器検討委員会での意見では、物を大切にせる教育にもなるというご意見もありました。</p> <p>食器の変更は給食センターにとっても大きなことですし、児童生徒にとっても大きく環境が変わることでもあります。</p> <p>ただ、ご意見いただいた中では、プラスチックへの変更が絶対に駄目ではない、という認識でよろしかったでしょうか。</p>
	<p>～ 各委員了承 ～</p>
事務局 (井上場長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>前回、皆様にはプラスチックに関する様々な種類を掲載した資料をお渡しし、各自、調べていただいたかと思ます。</p>
事務局 (井上場長)	<p>本日いただいたご意見の中には大規模調理場の建て替えの際などでは、現在ではPEN食器に変更するのが主流だという意見もありましたが、第1回と第2回での検討を踏まえ、このほか考えられたご意見等ありましたら、それもお伺いしたいと思ます。</p>

小林（道）委員	その他の食器に関してでしょうか？
事務局 （井上場長）	そうですね。プラスチックの中で PEN 食器以外に関してご意見がありましたら。
小林（道）委員	前回にも色々な食器について資料をもらいましたが、PEN 食器への大きな流れがあるので、他は難しいのかなと私としては思います。
中井委員	その他の食器について意見です。 私は前に木製も考えられると言ったのですが、一万食単位の調理場では簡単に転換はできないということを確認しまして、やはり木製というのは学校給食の現場では無理かな、と思いました。
小林（道）委員	そうですね。学校給食と言いますか、給食現場自体で木製を使うことにより保健所から指摘される場合はあります。
中井委員	木製も考えられるとの意見は、撤回させていただきます。
安部委員長	調べていただきまして、ありがとうございます。
小林（道）委員	これは、衛生的な問題です。 木製は菌が入りやすいので、給食施設での導入は敬遠されます。 この資料には例示として木製食器の記載がありますが、現場的に現実的ではないです。
事務局 （井上場長）	スライド 13 のそのほかの食器に関してご意見いただきましたが、ここに木製食器とガラス食器などを記載しています。 これは過去に使用している自治体があったことから記載したものです。 ただ、木製食器については衛生的な面、ガラス食器については安全性の面から現在は使われていないという形になっています。 これも工夫のところと同じく、私どもでは違う食器、オリジナリティのある食器を考えることができませんでした。
事務局 （井上場長）	もし、そのほかとしてお薦めされる食器がありましたら、教えてください。
安部委員長	もし、そのほかの食器でお薦めがありましたら、ご意見お願いします。

	<p>～ 意見無し ～</p>
安部委員長	<p>なかなか難しいですね。</p>
小林（道）委員	<p>強化磁器食器と PEN 食器のコスト面の比較はありましたか？</p>
事務局 （井上場長）	<p>同じ程度の額ということでお話しさせていただいております。</p>
事務局 （井上場長）	<p>コストについてお話がありましたので、補足させていただきます。 さきほどの世界最強磁器食器は現在の強化磁器食器よりも少し高くなります。 強化磁器食器と PEN 食器は同じくらいの価格ということで認識してください。 ただ、この時点でのご検討ではコストという観点での検討は二の次にしていただけたらと思います。</p>
安部委員長	<p>そのほかでお薦めする食器は難しいようですね。</p>
事務局 （井上場長）	<p>ご検討ありがとうございます。 これまででいただいたご意見につきましては、大変参考となります。 ただ、この2回目の検討委員会では、プラスチックに変更しますという結論は、出しません。 これまでの議論による認識としましては、プラスチックの変更が駄目ではないと受け止めております。 次回、第3回目の委員会では、現在使用している強化磁器食器とプラスチック食器の中で PEN 樹脂食器、これを主体として、変更なのか、継続使用なのかについて、更に深くご検討いただけたらと考えております。</p>
安部委員長	<p>事務局から第3回の検討委員会について、強化磁器の継続と PEN 食器への変更について、更に深い検討ということをお願いがりましたが、そのような方向でよろしいですか。</p>
中井委員	<p>第1回でもお話ししましたが、小学校1年生から中学生まで同じ食器を使わなくてはならないのでしょうか。 給食センターの管理の都合もあるかもしれませんが、それぞれ違う食器ということも意見交換してはどうでしょう。 小学校も高学年になると、食文化性の問題もでてきますし、全部が同</p>

<p>小林（道）委員</p>	<p>じ食器でなくても良いと考えますが、皆さんの意見もお聞きしたいです。</p> <p>私としては、食器の扱い方も変わってくるので、小学校低学年、高学年、中学生3つ位のレベルで分けても良いと思います。</p> <p>ただ、調理現場での管理が大変になるのは理解できますが。</p> <p>その意見は私もわかりますし、マンパワーと設備が完全に確保できるのであれば良いかと思えます。</p> <p>食器の種類が増えるとそれだけの収納も増えますし、在り方の検討委員会のときにも議論になりましたが、本当にいまは人手不足による人の取り合いで、作業をする人の負担も児童の安全と同じくらい考えていかないと、給食の提供ができなくなってしまう可能性があります。</p> <p>その辺も踏まえて、話をしていかなければならないと思えます。</p>
<p>小林（道）委員</p>	<p>私たちも現場で、魚だったら丸いお皿じゃなくて、角皿で出したいと思うのですが、収納が無くて断念することもあるので、現場では、本当に色々なことをやりたいのですが、現場の能力は限られていて、できないでいます。</p> <p>現場の方は本当に色々なことを考えてやっていますから、その視点から考えることも必要だと思えます。</p> <p>もちろん、児童生徒が第一なのですが、作る人が辛いというのはよくないと思えます。</p>
<p>事務局 （井上場長）</p>	<p>おっしゃっていただいた通り、収納や作業の面で難しいのはあります。それぞれに対応できたら良いとは思いますが。</p> <p>いまのご意見も踏まえていただいて、次回は、より深くご検討いただければと思います。</p>
<p>安部委員長</p>	<p>そうですね。給食センターで作業される方もいらっしゃいますが、学校ではセンターからいただいた食器を各教室に配送します。</p> <p>そういう配膳に関わっている方もいて、その方たちも毎日すごく気をつけて作業をされていて、本当に頭が下がる思いです。</p> <p>うちの学校だけでも16学級ありますので、その学級分を運んでいます。</p>
<p>安部委員長</p>	<p>大きい規模の学校だとその配膳もすごく大変だろうなと思っています。</p> <p>あと、給食試食会など子どもの給食だけではない場面も学校では行事として行っていたりしますので、色々な食器があると本当に作業が複雑になるだろうなとも思いました。</p>

安部委員長	<p>では、事務局に確認ですが、今後の進め方としては更に掘り下げた具体的な検討を行っていく、また各委員が課題を考えておき、第3回に進むということによろしいでしょうか。</p>
事務局 (井上場長)	<p>はい。お願いになりますが、強化磁器食器のままいくか、プラスチック食器に変更するかを検討していただくことになりますが、それぞれの良いところ、悪いところ。</p> <p>また、変更した場合、変更しなかった場合に、こんな問題があるといった点について考えておいていただき、第3回で意見交換をしていただきたいと思います。</p>
小林(道)委員	<p>例えば、食器を変更する場合、いまある磁器食器の処分はどのように考えていますか。</p> <p>結局、子ども達は食器が変わったら、前の食器はどこにいったんだろうねという疑問を感じると思います。</p> <p>それを全部捨てました、で済ましてしまうのはちょっとどうかと思います。</p> <p>上手くりリリースするなどの想定もしておかなければ、PEN食器に変えることも、スムーズにはいかないのかなと思います。</p> <p>あらゆる面から想定をしておかなければならないと思います。</p>
事務局 (井上場長)	<p>いまはまだ、具体的な案ではないのですが、他の自治体の事例では市民の方に状況を説明したうえでお渡しするといったことも拝見しています。</p> <p>また、メーカーには引き取ってもらって、割って砕くような形でリサイクルすることが可能か確認しています。</p> <p>ご意見の通り、変更となった場合には、ただゴミを増やすのではなく、何らかの手段を検討しなければならないと思います。</p>
小林(道)委員	<p>変更となってから考えるのではなく、子どもの教育の一環なので、その前に検討しておかなければならないと思います。</p>
事務局 (井上場長)	<p>それも踏まえまして、第3回で事務局から資料として出したいと思います。</p>
安部委員長	<p>ただいまありました通り、もう少し先をみたときに、こういう課題があるのではないかとということも含めて、それぞれ考えを持ち寄って、第</p>

	<p>3回で検討するというので、皆様よろしいでしょうか。</p> <p>～ 各委員了承 ～</p>
安部委員長	<p>それでは次第3の議題については終了といたします。</p>
安部委員長	<p>その他ですが、委員の皆様からご意見ありますか。</p> <p>～ なし ～</p>
安部委員長	<p>事務局から何かありますか。</p>
事務局 (三浦センター長)	<p>次回の開催について、ご連絡いたします。</p> <p>第3回委員会を4月に行う予定です。改めて事務局より、各委員へ日程調整のご連絡をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
安部委員長	<p>色々な方から色々な視点でお話しただけることが、最終的なゴールに一番いい形で向かっていくことになると思います。</p> <p>本日も貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>以上で第2回検討委員会を終了いたします。</p>

--	--